



国際交流活動2014年

国際展開担当理事 跡見 晴幸

去る9月9日(火)～11日(木)に、札幌コンベンションセンターで開催された日本生物工学会第66回大会における国際交流関連行事について報告する。

■**生物工学アジア若手賞** 本年度は第11回目となり、韓国の男性研究者 Ki Jun Jeong (Dept. Chemical and Biomolecular Engineering, Korea Advanced Institute of Science and Technology (KAIST)・准教授) 博士に授与された。受賞対象となった研究題目は、Antibody engineering and production in bacterial hosts (細菌宿主における抗体の工学および生産)で、受賞講演は大会2日目の午後に行われた。Jeong 博士は2001年にKAISTから博士の学位を授与され、2002年から2005年の間はUniversity of Texasに移り、博士研究員として研究に従事した。その後KAISTに戻り、微生物を利用したタンパク質生産に関する研究を幅広く展開し、特に抗体などの生産系開発においてめざましい成果を得ている。同氏の今後ますますのご発展を期待したい。



■**生物工学アジア若手研究奨励賞 (The DaSilva Award)** 本賞は微生物に関連するバイオテクノロジーの分野で、近い将来に顕著な研究業績をあげることが期待される35歳までのアジアの若手研究者に対して授与される。第3回目の本年度は中国の女性研究者 Li Zhiling 博士 (School of Municipal and Environmental Engineering, Harbin Institute of Technology, ハルビン工業大学都市環境工学部・講師) が受賞した。対象となった研究題目は Accelerated reductive dechlorination of chlorinated hydrocarbons by anaerobic bacteria formed biocathode system and the corresponding reaction mechanism (嫌気性微生物から成るバイオカソードによる塩素化炭化水素の還元的脱塩素反応の促進とその反応機構)であった。同氏は、名古屋大学エコトピア科学研究所の片山新太教授の研究室で研鑽を積み、2010年に博士号を取得、引き続き2013年まで同研究所で博士研究員として研究に従事した。同年7月からは現所属のハルビン工業大学に講師として採用され、一貫して微生物による含塩素有機物などの有害物質の分解機構に関する研究を展開し、環境バイオテクノロジー分野で活躍している。同氏の今後の研究におけるますますのご発展を期待したい。

■**韓国生物工学会 (Korean Society for Biotechnology and Bioengineering, KSBB) との人物交流** 今年は、4月9日～11日に慶州市で開催されたKSBB春季大会に、昨年度の学会賞受賞者である高木昌宏先生 (生物工学功績賞, 北陸先端科学技術大学院大)、菊地淳先生 (斎藤賞, 理化学研究所)、福田淳二先生 (照井賞, 横浜国立大) が参加し、講演を行った。第66回日本生物工学会大会では、3題の招待講演が、大会初日に通常セッションの中でポスター発表の形で行われた。招待講演者は、Tae-Joon Jeon 教授 (Inha 大学)、Yong-Sung Kim 教授 (Ajou 大学)、June-Hyung Kim 教授 (Dong-A 大学) であった。また、10月5日から7日に昌原市で開催されたKSBBの秋季大会では、五味副会長および倉橋副会長が参加して基調講演を行った。

■**KSBB-SBJ 交流会議** 大会2日目の10日午後、上記3名のKSBB関係者に Byung-Gee Kim 教授 (Seoul 国立大学, KSBB 会長) を加えた4名が出席のもと交流会議が開かれ、今後の交流方針その他について意見交換が行われた。本会からは、園元会長、五味副会長、倉橋副会長 (産学連携)、横田 (国際展開)、今井 (産学連携)、北本 (国際展開)、福崎 (学術)、松井 (産学連携)、高木 (英文誌編集)、本多 (庶務)、紀ノ岡 (庶務) の各業務担当理事、長棟 (東大)、事務局より伊藤が出席した。2015年度のKSBB春季大会および同秋季大会への本会会員の派遣、2015年度の第2回SBJシンポジウムおよび日本生物工学会大会へのKSBB会員の招待などについて打合せが行われた。特に2015年度KSBB秋季大会は、KSBBの創立30周年記念大会として行われる予定であることが伝えられた。

■**その他** 今大会では初日の授賞式においてKSBBを代表して Byung-Gee Kim 会長によるご挨拶があった。Kim 教授は同日夕刻の懇親会で鏡割に参加された。また、大会2日目の夕刻には、札幌市内のピアホールで交流会議のKSBBメンバーおよび日韓バイオマスシンポジウムのKSBB講演者を招待して歓迎会が開催され、両学会の親睦を深めることができた。

